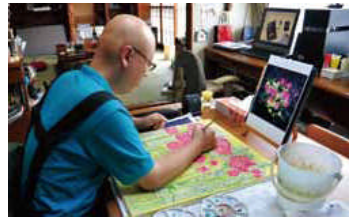


【コンゴテトラ】1999年 紙に色鉛筆、水性ペン 217×267mm



【カトレア・ピンク】2000年 紙に色鉛筆、水性ペン 316×407mm



### 蒲生 卓也 Takuya Gamo

1978年～ / 福島県在住

いくつもの線や幾何学形で埋め尽くされた独創的な生き物のカタチ。でも彼にとっては、ただ見えているものを忠実に写しとっているだけなのです。では、なぜ彼にはこのように見えるのでしょうか。彼が見ているのが、印刷された写真だということにヒントがあるようです。印刷写真は、色の小さな点々の集まりでできています。彼は、その微妙な点々の変化を忠実につかみ取り、それを描いているのです。実際、描きはじめるまでの長時間、ただひたすらその写真に見入っていますが、描きはじめるとためらいもなく、嬉しそうに一気に描き進んでゆきます。

この世界を、全体としてバランスよくつかみ取ることが困難な彼は、逆に彼にしかできない独自の「この世界のつかみ方」を発明したとも言えます。人は誰でも、その人独自の「世界の見方」を持っているのです。それが様々であることが、

人の表現、つまりアートの魅力の大切な根っこです。

彼の作画はまず鉛筆で描き、その後色鉛筆や絵の具で彩色してゆく方法です。花・動物などの図鑑や写真集が、彼のお気に入り。こうして自宅で毎日描く時間が、彼の一番安らかで幸福な時です。1枚の絵は1~3週間かけて、ゆっくりと仕上がってゆきます。



【プードル】2000年 紙に色鉛筆、水性ペン 407×320mm

蒲生 卓也